

スイス出張について

平成 26 年 1 月 27 日

1 月 25 日(土)から 27 日(月)の日程でスイスに出張しました。今回の出張では、WTO 非公式閣僚会合、世界経済フォーラム（いわゆる「ダボス会議」）に参加し、また、フロマン米通商代表、ロブ豪貿易大臣とバイ会談を行いました。

1. WTO 非公式閣僚会合

WTO 非公式閣僚会合には、日本、米国、EU、豪州、カナダ等 22 か国・地域)が参加し、昨年 12 月の第 9 回 WTO 閣僚会議(インドネシア・バリ)後の WTO 交渉の進め方について議論しました。日本からは、私と林農林水産大臣が参加しました。

私からは、昨年、この閣僚会合で提案した貿易円滑化協定の早期の採択、情報技術協定(ITA)拡大交渉に加え、新サービス貿易協定(TiSA)、環境物品といった有志国による交渉(プルリ)の推進の重要性等と呼び掛けました。

2. ダボス会議

ジャパン・セッション(各国有識者との非公式意見交換)を行い、予定以上の出席者を得ました。私と黒田 日銀総裁から世界各国の有識者やビジネスリーダーに対して、日本の経済成長や成長戦略について発信し、我が国への強い期待を感じました。

3. 閣僚との会談

(1) フロマン米通商代表との会談

TPP や WTO について有意義な意見交換を行いました。TPP については、早期妥結のため、日米協力を継続していくことを確認しました。また、WTO の ITA 拡大、環境物品については、日米で立場は全く同じ、今後も協力していくこととしました。

(2) ロブ豪貿易大臣との会談

日豪 EPA、TPP、WTO や G20 等、二国間及びマルチ案件について幅広く意見交換を行いました。昨年 11 月の東京以来の会談でしたが、今回も中味の濃い議論が出来ました。今後とも、日豪で緊密に連携を取っていくことを確認しました。



(ジャパン・セッション)

スピーチも Q&A も全部英語。多方面からの質問が出て、なかなか大変！でも盛り上がるセッションになりました。



(ジャパン・セッションの前に行われた日本食 PR イベント ジャパン・ランチ)
提供された日本食は大変好評でした。「今、日本に投資すればアベノミクスの恵み (fruits) は、今回の料理よりも更に大きい」と挨拶しました。



(フロマン米通商代表との会談)

実はこの部屋、昨年 1 月フロマン代表 (当時、大統領補佐官) と初めて会った部屋で、フロマン氏もそのことを覚えていました。